

# 米倉教公の週間為替市場見通し

8/28 日週号

ドル/円予想レンジ 107.50 - 110.90 円

## 『PCE コアデフレーターと米雇用統計の時給に注目！』

### ■今週の市場動向：ドル/円週足では迷い十字線！

今週のドル/円週足では、迷い十字線となり方向感の乏しい展開となった。週明けは、米韓合同軍事演習が予定通り始まったことや、株安が重しとなったことで売りが先行し、一時 108.60 円まで値を下げる場面もあった。ただ、NY ダウの底堅く推移したことが支えとなり買い戻しも入った。22 日は、米長期金利が上昇したことや、実需筋や本邦機関投資家のドル買いで 109.65 まで上げた。23 日は日本株上昇から買いが入り、一時 109.82 円まで上昇した。しかし、トランプ大統領が『メキシコ国境の壁建設資金を巡り政府封鎖も辞さない構え』との発言から政権運営を巡る先行き不透明感からリスク回避の売りが優勢となった。24 日は、一時 108.81 円まで下押ししたものの、本邦機関投資家からの買いが観測され 109.60 円まで反発した。25 日は米ジャクソンホールシンポジウムでイエレン米 FRB 議長が金融政策について言及しなかったことで、ドル売りが強まった。

### ■来週の注目点：PCE コアデフレーターと米雇用統計の時給に注目！

来週の注目点は、FRB が注視している米 PCE コアデフレーターや米雇用統計などが注目される。個人消費支出 (PCE) のコア指数は前年比+1.4%と 6 月+1.5%から低下と、2 年ぶりの低水準に後戻りすると見られている。米雇用統計では、個人消費の先行きを占う雇用統計の平均時給などが注目される。トランプ大統領は 30 日のミズーリ州での会合を皮切りに向こう数週間、全米数カ所を訪問、税制改革への支持を国民に呼びかける。各地で会合を開き、米国で税制改革の重要性を説いて行く。コーン委員長は税制改革案が年内に上下院をお通過することに自信を表明した。同時に債務上限問題の行方にも注目が集まる。ムニューシン財務長官は、マッコーネル共和党上院院内総務と同じく、債務上限が引き上げられると『100%確信している』と言及した。上値目途は、25 日高値の 109.84 円、節目となる 110.00 円、17 日高値の 110.37 円、16 日高値の 110.94 円、下値目途は、24 日安値の 108.81 円、21 日安値 108.60 円 4 月 17 日安値の 108.09 円、昨年 7 月 21 日高値 107.49 円となる。

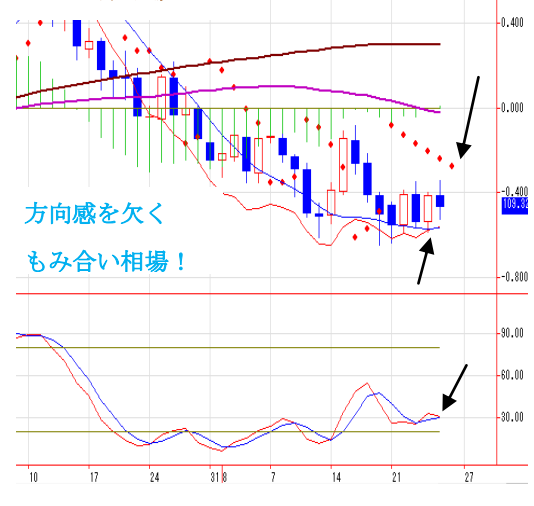
### ■テクニカル的な見解：テクニカル的にはもみ合い相場！

シカゴ IMM 投機筋の 8 月 23 日付け対米ドルの差し引き持ち高は、円は前週の▲77,492 から▲74,086 へと売り持ち高は前週から減少した。パラボリック (パラメータ : 0.08、0.3) では、8 月 18 日から売り転換した。28 日の SAR は 110.129 円まで上昇すると買い転換となる。MACD (パラメータ : 12、26、9) では、横ばいとなり方向感出ず。ストキャスティクス・スロー (パラメータ : 14、3、3、20、80) では、%K : 30.34、%D : 29.47 でシグナルは横ばいで方向感出ず。75 日線 (紫線) と 200 日線 (茶線) のサポートラインを下抜け。ロウソク足は、前日ロウソク足に対して上値・下値切り上げる戻り基調。テクニカル的には、もみ合い相場商状。上値・下値も限定的な値動きとなっている。ただ、週末早朝に北朝鮮が短距離ミサイル数発を発射したことで、再び地政学リスクが高まる可能性もある。

本レポートについての注意事項は巻末をご覧ください。必ずご確認ください。

ドル/円：日足 終値：109.32 円

200 日線下抜け



### ★前週の気になる出来事

水星逆行期に入ってから為替は大きく動くものの、方向感の乏しい展開が続いている。この時期特有の動きとなっている。また、東京商品取引所のシステムダウンや、週末には大規模なシステム障害が出て、総務省や警察当局が動くことになった。今回の水星逆行では、起こりやすいと言われている事象が多々発生している。新しいことを始めるよりは、いつかやろうと思って後回しにしていた事をやみるとか、読んだ本をもう一度読んでみるなど、足元を見つめ直す良い時期かもしれない。

商号：株式会社フジトミ

金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第 1614 号

商品先物取引業者：農林水産省指令 28 食産第 3988 号,経済産業省 20161108 商第 10 号

加入協会：日本証券業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人金融先物取引業協会、

■くりっく 365 の売買手数料は 1 枚当たり最大でインターネットスタンダードコースが片道 0 円 (税込)、インターネットプレミアムコースが片道 648 円 (税込)、コンサルタント取引 (対面取引) コース及びコンサルタント取引 (対面取引) オンライン併用コースが片道 1,080 円 (税込) です。

■くりっく 365 における証拠金の額は、株式会社東京金融取引所が定める為替証拠金基準額で、原則週次で見直されます。その額は通貨ペアによって異なり、個人のお客様の場合最大で約 25 倍のお取引が可能です。

**【くりっく 365－為替証拠金基準額の算出方法】**

金融先物取引所が定める為替証拠金基準額は以下の計算式に基づき、算出致します。

計算式：為替証拠金基準額＝取引単位 (元本金額) ×4%× (5 取引日の為替清算価格平均値)

■「くりっく 365」には、以下のリスクがあります。

**【価格変動リスク】**

くりっく 365 は、取引する通貨の価格の変動に伴い差損が生じる場合があります、元本や収益が保証されるものではありません。建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生ずる場合があります。また、差入証拠金以上の損失が生ずる場合があります。

**【レバレッジリスク】**

くりっく 365 は、取引の額が預託された証拠金に比して大きくなるため、価格変動リスクその他のリスクがその比率に応じて増幅されます。レバレッジにより、その取引について必要となる証拠金の最大 25 倍までのお取引を行うことができます。

**【信用リスク】**

当社は、東京金融取引所を相手方とした「清算制度」に参加しており、お客様の証拠金は、全額取引所が区分管理しているため、原則として全て保全されています。しかし、当社の信用状況の変化等により支払いが滞ったり、破綻した場合には、返還手続きが完了するまでの間に時間がかかったり、その他不測の損失を被る可能性があります。

#### 【システム障害リスク】

当社及び東京金融取引所のシステム、又はお客様、インターネット業者、東京金融取引所の間を結ぶ通信回線等に障害が発生した場合には、相場情報等の配信、発注・執行等が遅延したり、不可能になることがあり、その結果、不測の損失が発生する可能性があります。

#### 【税制・法律等の変更リスク】

税制・法律又はその解釈等が将来変更され、実質的に不利益な影響を受ける可能性があります。

#### 【金利変動リスク】

取引対象である通貨の金利が変動すること等により、保有するポジションのスワップポイントの受取額が減少、又は支払額が増加する可能性があります。ポジションを構成する2国間の金利水準が逆転した場合等には、それまでスワップポイントを受け取っていたポジションで支払いが発生する可能性もあります。また、一部の通貨においては、外国為替市場における当該通貨の需給関係等の影響を受けて、金利変動によらずにスワップポイントの増減や支払いの逆転が生じたり、場合によっては、金利の高い方の通貨の買いポジションでスワップポイントの支払いが生じる可能性があります。

#### 【流動性リスク】

くりっく 365 で提示する為替レートには価格差（スプレッド）があります。くりっく 365 では、マーケットメイカーが買呼値及び売呼値を提示し、それに対してお客様が注文を発注して取引が成立する方式を取っています。状況（天変地異、戦争、政変あるいは為替相場の激変等）によって、マーケットメイカーによる買呼値や売呼値の安定的、連続的な提示が不可能または困難となることがあり、その結果、想定する価格で取引ができないなど、お客様にとって不測の損失が生じる可能性があります。また、一部の通貨において母国市場等の休業の場合には臨時に休場することがあります。更に、当該国の為替政策・規制による他通貨との交換停止や外国為替市場の閉鎖の措置がなされるなどの特殊な状況が生じた場合には、特定の通貨ペアの取引が不能となる可能性もあります。なお、平常時においても流動性の低い通貨の取引を行う場合には、希望する価格での取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。

#### 【コンバージョンリスク】

クロスカレンシー取引においては、決済が当該通貨ではなく円貨でなされることから、決済時に当該通貨の為替リスクの他に円との為替リスクがあります。

#### 【ロスカットのリスク】

相場の変動により、有効比率が当社の定める基準以下となったことを当社が確認した場合、お客様の意思に関わらず、当社はおお客様の全ての未約定注文の取消及び全ての建玉の決済注文（ロスカット注文）の発注を行います。

ロスカットの場合でも、相場の急激な変動により損失の額が差し入れた証拠金の額を上回る可能性があります。

#### 【情報リスク】

当社からご提供させていただく情報は、くりっく 365 の取引の参考としていただく資料です。その記載情報は、信頼性、正確性、完全性において保証されるものではありません。また、情報内容も予告なしに変更することもあります。

#### 【その他】

取引所為替証拠金取引の売買は、クーリング・オフの対象とはなりません。取引所為替証拠金取引に関しましては、金融商品取引法第37条の6の規定の適用対象とはなりませんので、ご注意ください。

※くりっく 365 は、株式会社東京金融取引所の登録商標です。